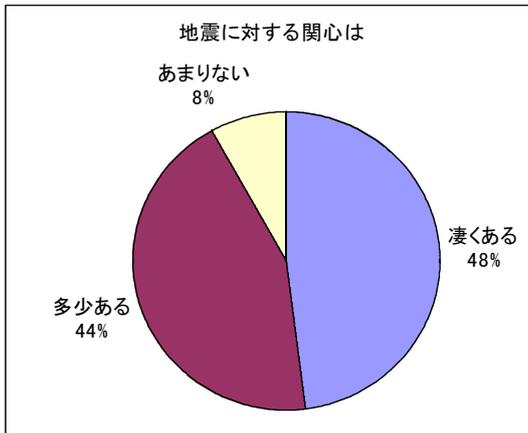


## アンケート回答者の9割が「地震に関心有り」



### 活動始まり、マスコミにも登場

8月2日に高知市への設立届を提出して以降、地震対策意識アンケートを実施したり、昭和小学校、下知消防団、交番、地域安全協会、知寄町二三丁目町内会などに挨拶回りもしてきました。

マンションにおける自主防災組織の一例として、高知新聞にも取り上げられたり、10月3日のRKC「こうちeye」にも登場したりとマスコミにも露出し始めています。

会員全員のみなさんのご協力があればこそこの活動ですので、よろしくお願いします。

## アンケート結果をもとに今後の活動の活性化を

8月17日から配布させて頂いた、「地震対策意識アンケート」も当初の締め切り日の9月2日には回収率が悪く、さらに7日まで延期し、役員で集計を行い、9日の役員会に報告、議論をしました。回収枚数は76枚で、実質回収率62%と少し残念な結果となりました。

アンケートの集計表は第二、三面に掲載してありますので、じっくりご覧ください。また、自由記載欄にご記入頂いたご意見は、役員会で今後の活動や議論の参考にさせていただきます。

### 学習会への積極的なご参加を

さて、第二回役員会は、32名中24名（内訳19名出席5名委任状）の出席で、9月9日に開催されましたので、協議事項などについてご報告しておきます。

まず、みなさんの関心あるテーマによる学習会につきましては、右記のとおり開催することとしましたので、積極的にご参加ください。

次に、防災マップの作成につきましては、マンション敷地及び棟内におけるマップ作成とし、詳細は補助金の交付見通しによって決定することとし、現時点では、適当なアドバイザーを捜すこととします。また、防災訓練については予定通り2月に独自で行うのか、昭和小学校の地域防災訓練と結合させるのかについて、今後議論することとします。

**第一回防災学習会のご案内**  
**「マンションでの備え、被災時に気をつけること」**  
講師 高知市防災対策課 山本聡係長  
日時 十一月十一日（土） 午後七時から  
場所 集会室  
◆ 普通の防災講演会では聞けないマンションだからこそのお話です。是非ともご参加を。

# アンケート結果の解説

●個人で、消火器を保有されている方が保有されていない方より少ないことが分かりました。

●防災訓練に参加経験者が63%と多かったのは、提出者に関心の高い人が多かったためと思われます。

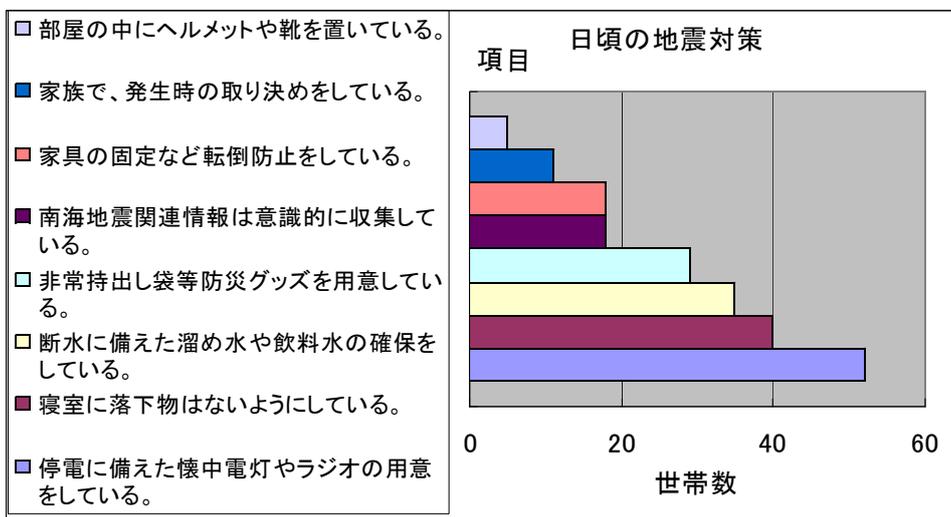
●地震の揺れについては、実際震度が強かった芸予地震の感じ方が少なかったのは、日中でもあり、マンションに不在だったためと思われます。

●家族だけでは避難できないという世帯が20%近くありました。しかし、そのうち支援を必要とする届けを出したい人は5割に止まっている状況もあります。今後、要支援者リストの作成について、さらに議論をしていくこととします。

### 各班の役割と取り組みの検討について

「役員以外の方が、他人事のように受け止めていないか。」また、「役割を果たすには、現在の役員では人数が少ないのではないか。」「今の役員の任務はそれぞれの役割の企画立案を果たすぐらいに考えなければ、被災時にも全てをこなすのは無理」などの意見が役員会で出され、将来的には、全世帯が何らかの役員についていただくような構想を持った、議論と活動を進めていくこととしました。

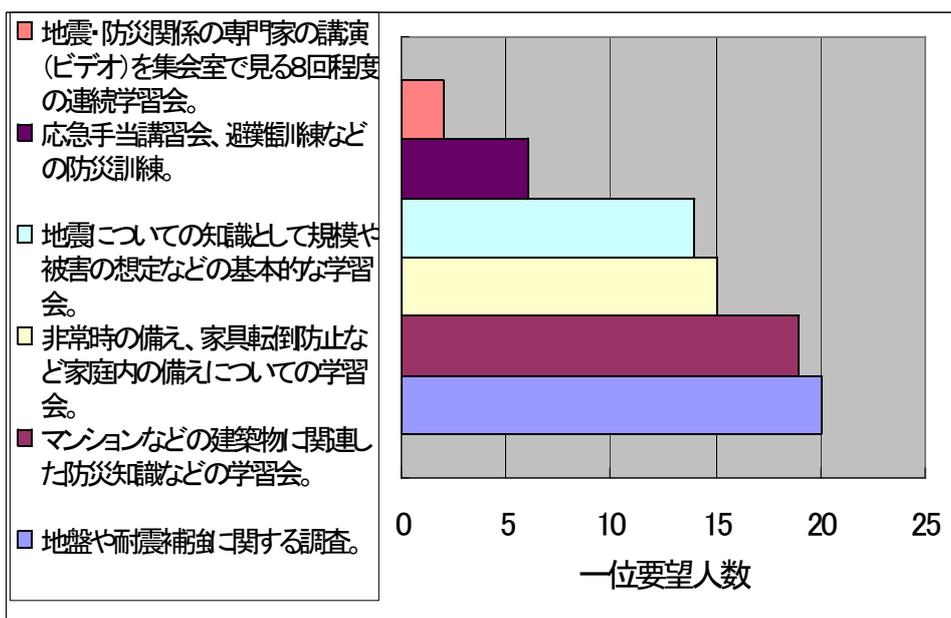
次回役員会の際に、それぞれの役割の活動方針を議論できるようにするため、それぞれの班員が考えてくることとしています。



●日頃の地震対策として、家具転倒防止ができていない世帯は、低い方から3番目で23%となっています。これは、平成17年の県民意識調査の20%とほぼ同数となっています。

●家具転倒防止については、したくても「家庭内でできる人がいない」ということなどから費用がかかっても、してくれる人がいれば欲しいという比率が5割を超えていることに着目した対策も検討の必要があります。

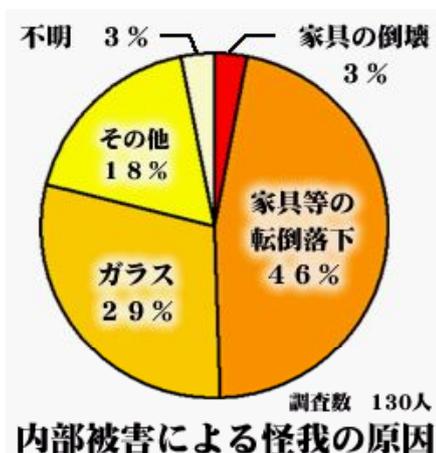
●防災会のとりくみの優先順位としては、「地盤や耐震補強に関する調査」についての関心が最高となりました。これについては、管理組合との共同事業として取り組むこととなります。学習会テーマとしては、マンションなどの建物ゆえに関連した防災知識について関心が高いことが分かりました。



地震対策意識アンケート集計結果

設問項目	結果(人)	設問項目	結果(人)
<b>1 消火器の場所</b>		<b>7 備えちよきは保管しているか</b>	
はい	72	はい	34
いいえ	4	なくしました	37
<b>2 個人で消火器の保有</b>		<b>8 家族だけで避難可能か</b>	
はい	36	できる	56
いいえ	40	できない	14
<b>3 防災訓練の参加経験は</b>		<b>9 できない方は支援が必要と届けたいか</b>	
はい	48	はい	7
いいえ	27	いいえ	5
<b>4 揺れの感じ方はどうだったか</b>		<b>10 日頃行っている地震対策は</b>	
<b>阪神大地震</b>		家族で、発生時の取り決めをしている。	11
強く揺れた	37	非常持出し袋等防災グッズを用意している。	29
揺れた	21	南海地震関連情報は意識的に収集している。	18
あまり感じなかった	2	寝室に落下物はないようにしている。	40
<b>芸予地震</b>		部屋の中にヘルメットや靴を置いている。	5
強く揺れた	21	停電に備えた懐中電灯やラジオの用意をしている。	52
揺れた	23	断水に備えた溜め水や飲料水の確保をしている。	35
あまり感じなかった	2	家具の固定など転倒防止をしている。	18
<b>大分地震</b>		<b>11 家具転倒防止をしてない人は何故か</b>	
強く揺れた	5	面倒くさい。	12
揺れた	15	どのようにすれば良いか分からない。	29
あまり感じなかった	11	やりたくても、できる人が家族にいない。	13
<b>あなたの階は</b>		<b>12 費用はかかっても転倒防止はしてもらいたい</b>	
2階	5	はい	42
3階	5	いいえ	15
4階	7	<b>13 マンション内のご近所づきあいは</b>	
5階	7	挨拶をする関係の人は多い。	5
6階	6	エレベーターで会えば挨拶はする。	61
7階	3	マンションの住人かどうかぐらいは分かる。	26
8階	7	顔を見ればどこの世帯か分かる。	6
9階	6	世間話をする程度のおつきあいの世帯がある。	34
10階	5	日頃から親しいつきあいの世帯がある。	21
11階	4	マンション以外の近隣町内(知寄町、稲荷町など)の方とのつきあいがある。	14
12階	7	その他	
13階	3	<b>14 防災会の取り組みの優先順位は</b>	
14階	8	地震についての知識として規模や被害の想定などの基本的な学習会。	4
<b>5 他所より安全と思うか</b>		マンションなどの建築物に関連した防災知識などの学習会。	2
安全と思う	23	非常時の備え、家具転倒防止など家庭内の備えについての学習会。	3
危険と思う	9	地震・防災関係の専門家の講演(ビデオ)を集会室で見る8回程度の連続学習会。	6
分からない	44	応急手当講習会、避難訓練などの防災訓練。	5
<b>6 地震に対する関心は</b>		地盤や耐震補強に関する調査。	1
凄くある	36	問い14に関しては、優先順位で一位がつけられた項目の多い順とし	
多少ある	33	た。	
あまりない	6		

# 家具転倒防止は正しい知識から



役員会に先立ち「備えネット」のメンバーから家具転倒防止についてのアドバイスをいただきましたので、概略のご報告をします。

左グラフのとおり、内部被害による怪我の原因で家具の倒壊、転倒落下が最も多数を占めているとおり、家庭内部で被害に遭わないための転倒防止策が、急がれていることが明らかです。

今回は、転倒防止器具の種類や効果、取り付けの際の留意点について、実物やモデルを見せていただきながらのお話となりました。「取り付ける場所や部屋と家具の向き」や「ガラスの飛散防止フィルムも一、二度失敗すれば次にはうまくいく」など参加者からも意見が出される中で、まず、「ガラスの飛散防止フィルム

の貼り付け」が強調されました。まとめとして、以下の点が述べられましたが、今後適当な家具転倒防止のマニュアルなどもこの「防災新聞ちより」で、ご紹介していくこととします。

## ま と め !

- 建物の上層階ほど家具の転倒率が高い！
- 硬い床よりも軟らかい床(例えば、フローリングよりも絨毯や畳)に置いた家具の方が転倒率が高い！
- 奥行きが浅くて背が高い家具の方が(その反対より) 転倒率が高い！
- 防止器具によって、転倒防止効果や振動抑制効果に大小がある。全般的に、家具の上部を固定する器具の方が、下部を固定する器具より効果がある！
- L型金具は、家具の挙動を抑制し、効果が大きい。一方、震度6強以上の衝撃力が家具にかかることにより、器具の変形や壁の損傷が生じることがある。
- プレート式の器具はL型金具と同等の効果を得られるとともに、ベルト式(上部固定タイプ)の効果は大きいですが、ベルトのゆるみ等による移動が生じる場合もある。
- ポール式器具は、家具の天板と天井の部分に強度が確保されている場合には、比較的效果が得られる。また、器具に対して横方向の揺れを受けると脱落しやすくなる。
- ストッパー式やマット式のような家具の下部に設置するタイプの器具は、震度が大きくなると移動や転倒の危険性が高くなる傾向がある。
- 上部固定式の器具と下部設置式の器具を組み合わせると、より大きな効果を得ることができる。

家具と天井の隙間を家具で埋めて  
有効活用+転倒防止！

こんなすきまボックスというすぐれものも発売されているようです。

